

ICT活用例 ～成羽中学校～

学級活動(3年生) 「受験にふさわしい身だしなみ」

授業の内容

受験が近づいてきた3年生が、進路学習の一環として受験にふさわしい印象の良い身だしなみや姿勢について学習しました。生徒一人一人のタブレット端末に「受験にふさわしくない生徒像」を映し出し、直す必要があるところに印を付け、電子黒板に映し出し発表と解説を行いました。

活用のねらい

「ふさわしくない姿勢や態度」を生徒それぞれが実際に見ること



タブレット端末を活用した面接演習

で、どのような印象を受けるのかを考えやすく、また、クイズ形式にすることで楽しく授業を受けることができるのではないかと思います。タブレット端末を活用しました。

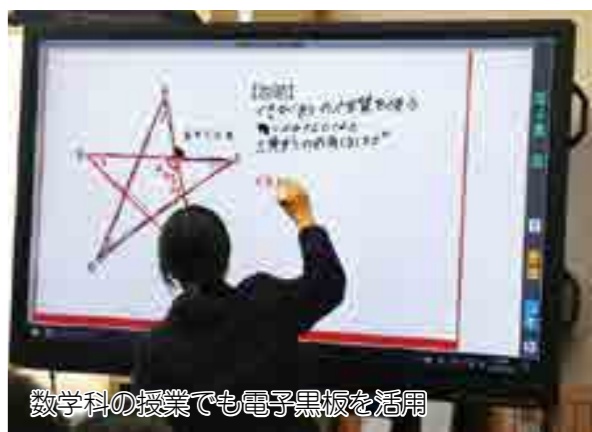
活用してみても

画像を見て考えることで、悪いところを指摘するだけでなく、何がどのように悪いのかを印象として捉えることができました。そして、考える上でタブレット端末が思考のサポート的な役割を果たしました。

体育科(全学年) 「マット運動の確認」

授業の内容

お互いの動作をタブレット端末で撮影し、できていないところを確認しました。その後、手本のDVDを見ながら改善点をアドバイスし合い、それぞれの課題を確認するとともに、生徒たちが補助し合いながら練習に取り組みしました。



数学科の授業でも電子黒板を活用

活用のねらい

タブレット端末を利用して、技の出来栄を視覚的に確認しながらアドバイスをすることにより、改善点を明確にすることができ、技の習得に向けてより意欲的に活動ができるのではないかと考えました。

活用してみても

生徒たちが話し合いお互いが補助し合うことで、全員で活動に取り組みうとする前向きな雰囲気昨年以上に形成できました。視覚的に確認する作業は生徒のモチベーションを上げる有効な手段であり、話し合いの時間を確保するために個人種目での利用が効率的であると感じました。

教諭としての思い①



富家小学校 研究主任
いたの かな
板野 加奈 教諭

主体性が生まれている

児童は日常生活の中でICT機器を利用しており、操作は慣れていきます。導入当初、児童は授業で使えることや映像を見られることが楽しいようでしたが、今では勉強するためのツールの一つとなりました。グループでの活動も多くなり、友だちと対話が増え主体性



研究の成果を発表

情報交換ができるように

が生まれ、自分から勉強する意識も高まり、発表に向けた資料や作文の作成にもつながっています。参観日にはICTを活用した授業を保護者にも公開しており、「内容が分かりやすい」「今の子どもたちに合っている」など好評をいただいているところです。

本校では、電子黒板やタブレット端末に加え、国語や算数などの授業でデジタル教科書も使用しています。指導する側の立場としては、子どもたちに授業の内容などを提示しやすく、操作方法も簡単に板書時間や授業の準備時間も減り、非常に効果的であると感じています。その中で、授業全ての時間でICT機器を使用するのはなく、どのタイミングで活用するのが有効なのかを考えるようにしています。

今の子どもたちにICT機器は必要なものとなっています。今後市内の全小・中学校に広がることで、教員同士の情報交換ができ、より効果的にICTを活用できるのではないかと思います。

教諭としての思い②



成羽中学校 研究主任
あらい てるゆき
荒木 輝幸 教諭

ICTによるサポートは重要

ICT機器が本校に導入され、各教員はその効果を感じながら授業で活用しています。

授業を受けている生徒は、映像を見たり撮影した動画で動きを確認したりすることで、学習内容が分かりやすく、興味を引きつけられているようです。生徒からも



研究の成果を発表

多くの意見を共有できる



成羽中学校 3年
かわつき しょうお
川月 青 さん

生徒の思い

ICTを利用した授業では、タブレット端末に書き込むことで簡単に自分の意見や考えを発表することができます。また、電子黒板に書き込んだ内容が表示されるので、それぞれの意見や考えを共有することもできます。

グループごとにタブレット端末を使用する授業では、それぞれの意見をグループの意見としてまとめる必要があります。「人の意見を聴く力」と「意見をまとめる力」が少しずつ身に付いてきています。

また、理科の実験の手順を映像で確認することができたり、体育のマット運動で自分の動作を撮影し動画で確認できたりするので、授業で教えられた内容がとても理解しやすいです。

「タブレット端末を使いたい」などの声をよく聞いています。

私が思うICTのメリットは、映像での視覚的なサポートです。話を聞くだけでは理解が難しい授業でも、ICT機器の視覚的なサポートが内容を分かりやすくしています。

ICTを上手に活用していく

一方で、ICTを無理やり活用しようとする、機器の操作方法や授業の準備に時間がかかったり、生徒がタブレット端末に興味本位で使ったりするなどの問題点が出てきます。そのため、機器の使用方法的徹底と、教員の機器の使用技術を上げていく必要があると考えています。

今後はICTが活用できる場面があれば積極的に授業で活用していきたいと思っています。単に機器を導入するだけでは、効果的なICTの活用はできません。活用の場面を考えた授業展開の工夫や、生徒が自主的に学習に取り組める環境づくりなどを並行して進めていきたいと思っています。